

# EndNote basic 入門

■ 本日のテーマ オンライン文献管理ツール・EndNote basic の基本的な機能を知る

■ 講習会で使用するデータベースの入口サイト



<http://www.lib.m.u-tokyo.ac.jp/>

■ EndNote basic ができること

1. 自分用の文献データベースを Web 上に作成する
2. 参考文献リストを自動で作成する
3. ユーザー同士で文献フォルダを共有する

■ そもそも「文献管理ツール」とは？

論文情報や論文本文のデジタルファイルをフォルダに分けて整理・保存し、論文執筆時に保存した論文情報から引用文献リストを自動作成してくれるソフトウェアやオンラインサービスのこと。  
 東京大学所属者なら EndNote basic(機関版)と RefWorks、Mendeley(機関版)を個人負担なしで利用できる他、個人でソフトウェアを購入して利用する EndNote デスクトップ版や無料ツールの Zotero、ReadCube などもある。

■ 文献管理ツールの選び方

それぞれ特徴や相違点があるので、自分の使い方に合ったツールを探すとよい。多くの文献管理ツールは相互のデータ移行が可能なので、一通り試してみたら使いやすいものに集約する方法もある。

**参考** RefWorks, EndNote basic, Mendeley, EndNote の主な相違点  
 ⇒[http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/utonly/enw\\_refw.pdf](http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/utonly/enw_refw.pdf)  
 (本部情報基盤課[学術情報リテラシー担当]作成 学内からのみアクセス可)

この資料に関するお問い合わせ: 東京大学医学図書館情報サービス係講習会担当  
 TEL: 03-5841-3667(内線:23667) E-mail: medkoshu@m.u-tokyo.ac.jp

## EndNote basic を使う

ENDNOTE®

http://www.myendnoteweb.com/ (学内・学外どちらからでもアクセス可能)  
または http://www.webofknowledge.com/ から「EndNote」をクリック

### 【 ユーザー登録 】

- ① 学内から Web of Science にアクセスし、画面上部の「EndNote」をクリック。
- ② サインイン画面で「登録」をクリックし、必要事項を入力する。

\* 以下の場合、ユーザー登録は不要です

- 既に Web of Science のユーザー登録をしている (Web of Science とアカウントは共通)
- 旧 EndNote Web でユーザー登録済 (同じアカウントで EndNote basic も引き続き利用可能)
- 無料版 EndNote basic のアカウントを持っている (学内からサインインすると自動で無料版から機関版に昇格し、利用できる参考文献リストのスタイルが増える)

<Web of Science のログイン画面>

★パスワード作成上の注意

- ・ 8文字以上
- ・ アルファベット、数字、記号を必ず含むこと

<EndNote basic のログイン画面>

ユーザー登録後は、学内・学外を問わず  
ここからサインインして利用可能。

### 【 CWYW プラグインのインストール 】

※CWYW をインストールすると、PubMed・東京大学 OPAC などからのデータ取り込みや、MS Word での論文執筆中の参考文献の挿入や参考文献リストのスタイル設定が簡単に行えるようになる。

## 【 Web of Science の検索結果をダイレクトエクスポート 】

- ① EndNote basic にサインインした状態で Web of Science を検索する。
- ② 検索結果一覧画面のプルダウンメニューから「EndNote オンラインに保存」を選択。
- ③ EndNote basic に取り込みたいレコードの番号を指定し、「保存」ボタンをクリックする。  
 ※取り込みたいレコードが飛び飛びに並んでいる場合は、必要なレコードの左端にチェックを付けてから「EndNote オンラインに保存」をクリックすると、チェックを付けたレコードだけが保存対象となる。
- ④ データ送信が完了すると、「送信が完了しました」と表示された後、検索結果一覧画面に戻る。
- ⑤ EndNote basic を開いていた画面に戻り、「マイレファレンス」タブを再読み込みすると、[未整理]フォルダに取り込んだレコードが表示される。

### 基本検索

①   著者名

ページを選択

1. **Dynamic regulation of human endogenous retroviruses mediates factor-induced reprogramming and differentiation potential**  
 著者名: Ohnuki, Mari; Tanabe, Koji; Sutou, Kenta; et al.  
 PROCEEDINGS OF THE NATIONAL ACADEMY OF SCIENCES OF THE UNITED STATES OF AMERICA 巻: 111 号: 34 ページ: 12426-12431 発行: AUG 26 2014

EndNote basic に取り込むと、このマークが表示される。保存済みレコードの目印になる。

my.endnote.com に保存

レコード件数:  ページ上のすべてのレコード  
 レコード  -

レコードコンテンツ:

③

④  1. **Dynamic regulation of human endogenous retroviruses mediates factor-induced reprogramming and differentiation potential**  
EN 著者名: Ohnuki, Mari; Tanabe, Koji; Sutou, Kenta; et al.  
 PROCEEDINGS OF THE NATIONAL ACADEMY OF SCIENCES OF THE UNITED STATES OF AMERICA 巻: 111 号: 34 ページ: 12426-12431 発行: AUG 26 2014

**POINT!**  
 ここで取り込まれたレコードは、すべて[未整理]フォルダに保存される。(P.5 参照)

⑤ **マイレファレンス** 収集 構成 フォーマット 一致 NEW オプション Connect Data

クイックサーチ 検索:  対象:

マイレファレンス  [未整理] (10)   ▼ **マイグループ**

[未整理] 25件/ページ 1 / 1 GO

| 著者*                      | 年                      | タイトル   |
|--------------------------|------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | Chonabayashi, Kazuhisa | 2014 Patient-Specific Induced Pluripotent Stem Cells Recapitulate the Maturation Defect of Myelodysplastic Syndromes Blood |

ライブラリに追加: 16 Apr 2015 最終更新日: 16 Apr 2015  
 Web of Science™ で表示 → 情報源レコード, Related Records, 被引用数: 0

## 【 PubMed の検索結果をダイレクトエクスポート(プラグイン使用) 】

- ① PubMed 検索結果一覧画面で、EndNote basic に取り込みたいデータの左端にチェックを付ける。
- ② 「Send to」のプルダウンメニューで「Citation manager」を選択。
- ③ 「Create File」ボタンをクリック。
- ④ EndNote basic にサインインするポップアップが表示されるので、メールアドレスとパスワードを入力。
- ⑤ 「\*\* references exported to EndNote Web」というポップアップが表示されたらエクスポート成功。

The screenshot shows the PubMed search results page for 'ips cell'. The search results are listed with checkboxes on the left for selection. A 'Send to' dropdown menu is open, showing 'Citation manager' as the selected option. The 'Create File' button is highlighted. The 'EndNote Web Login' dialog box is shown with the email address 'medkoshu@m.u-tokyo.ac.jp' and a password field. The 'ENWebLink' dialog box shows a success message: '3 references exported to my.endnote.com.' A 'POINT!' box notes that records are saved to the 'Unorganized' folder.

**POINT!**  
ここで取り込まれたレコードは、  
すべて[未整理]フォルダに保存  
される。  
(P.5 参照)

★CWYW を使わない方法や、その他のデータベースからの取り込み方法は、「各データベースから EndNote basic へのインポート方法」(本部情報基盤課[学術情報リテラシー担当]作成)をご参照ください。

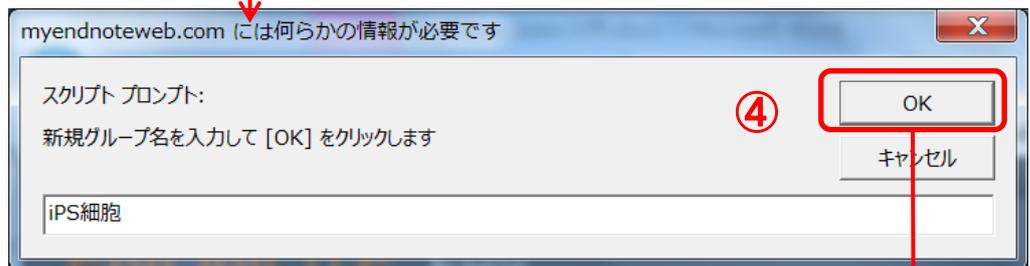
[http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/faq/enw\\_import.html](http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/faq/enw_import.html)

## 【 グループを新規作成してレコードを移す 】

- ① 「マイレファレンス」タブから[未整理]フォルダを開く。
- ② 移動させたいレコードの左端にチェックを付ける。 ※一括して移動させたいときは「すべて」にチェック
- ③ 「グループに追加」のプルダウンメニューで「新しいグループ」をクリック。  
 ※既存のグループに移動させたいときは、プルダウンで表示されるグループ名をクリックする
- ④ グループの名称を入力して「OK」ボタンをクリックする。



プロンプトが表示されないときは、ポップアップブロックを解除して再度実行。



**POINT!**  
 取り込んだレコードは、その都度こまめにマイグループに移して整理しておくのが、上手な文献管理のコツ。  
 グループ名は日本語でも入力可能。  
 1つのレコードを複数のグループに保存することもできる。



### 【補 足】

- A) EnNote basicに取り込んだレコードから電子ジャーナルの論文本文にアクセスするには**  
 ⇒ **全文** または **UTokyo Article Link** をクリック。
- B) 取り込んだレコードを編集したい**  
 ⇒ 論文タイトルをクリックすると編集画面が開く。適宜修正・追記等を行い、**保存** ボタンをクリック。  
 全フィールドが検索対象になるので、例えば Research Notes 欄に論文を読んだ際のメモなど任意のコメントを入力しておく、後で思い出して探したり執筆中の論文に引用したりするときに便利。
- C) 手入力レコードを新規作成したい**  
 ⇒ 「収集」タブの「新しいレファレンス」をクリックすると、新規入力画面が表示される。  
 「レファレンスタイプ」(Book, Journal Article 等)を選択すると、その資料タイプに沿った記入欄が表示されるので、各項目に入力後、**保存** ボタンをクリックする。
- D) EndNote basic のレコードに、ダウンロードした電子ジャーナルの論文本文のファイルを添付したい**  
 ⇒ レコード編集画面で「ファイルの添付」をクリックしてアップロード。 ※最大 2GB まで保存可能

## 【 参考文献リストの作成(プラグイン使用) 】

- ① 論文原稿を Word ファイルで用意する。
- ② 引用文献を挿入したい箇所にカーソルを合わせ、Word のリボン「EndNote Web」(Word のバージョンにより表記が異なる)を開く。ポップアップが表示されるので、メールアドレスとパスワードを入力してサインイン。
- ③ Insert Citations ボタンをクリック。
- ④ 検索ボックスに検索語を入れ、Find ボタンをクリックする。
- ⑤ 検索結果から引用するレコードを選択し(複数選択可)、Insert ボタンをクリック。
- ⑥ 論文情報が挿入されるので、投稿する雑誌の投稿規定に合致したスタイルを選択し、上書き保存する。

The screenshot shows the Microsoft Word interface with the EndNote Web ribbon active. The 'EndNote Web' tab is selected, and the 'Insert Citations' button is circled in red (③). The 'EndNote Web Find & Insert My References' dialog box is open, showing a search for 'yamanaka s' (④) and a list of search results. The 'Insert' button is circled in red (⑤). The 'Style' list is also visible at the bottom left, with 'Numbered' selected (⑥).

EndNote Web Find & Insert My References

yamanaka s Find ④

| Author    | Year | Title   |
|-----------|------|---|
| Kaneko    | 2013 | To Be Immunogenic, or Not to Be: That's the iPSC Question     |
| Okano     | 2014 | iPS cell technologies: significance and applications to CNS r |
| Sasaki    | 2013 | Modeling Catecholaminergic Polymorphic Ventricular Tachyc     |
| Takahashi |      | Improving induced pluripotent stem cells, by contacting prot  |
| Yamanaka  |      | Producing a cell belonging to an endodermal lineage, compri   |
| Yamanaka  |      | Producing induced pluripotent stem cell used for producing :  |
| Yamanaka  |      | Producing induced pluripotent stem cell, by introducing mor   |
| Yamanaka  |      | Screening for human induced pluripotent stem cell line exhi   |

Reference Type: Journal Article  
 Author: Okano, Hideyuki  
 Yamanaka, Shinya  
 Year: 2014  
 Title: iPS cell technologies: significance and applications to CNS regeneration and disease  
 Journal: Molecular Brain  
 Volume: 7  
 Date: Mar 31  
 ISSN: 1756-6606  
 Electronic Resource Number: 10.1186/1756-6606-7-22  
 Accession Number: WOS:000334879400001  
 Abstract: In 2006, we demonstrated that mature somatic cells can be reprogrammed to a pluripotent state by gene transfer, generating

Style: Numbered ⑥

Digestive Diseases  
 Digestive Endoscopy  
 Digestive Surgery  
 Digital Signal Proc  
 Dimensions of Dental Hygiene  
 Diplomatic History  
 Disability & Society  
 Disasters  
 Discourse  
 Diseases Aquatic Org  
 Diseases Colon Rectum  
 Diseases Esophagus  
 Diversity Distributions  
 DO - Deutsche Zeits fur Osteopathie  
 Domestic Animal Endo  
 Drug and Alcohol Dep  
 Drug Development Res  
 Drug Discovery Today  
 Drug Metabolism and Disp  
 Drug Resistance Updates  
 Drug Safety  
 Drugs  
 Drugs and Aging  
 Drugs and Therapy Persp  
 Dynamic Medicine  
 Dynamics Atmospheres Oceans  
 Dyslexia  
 Numbered

Insert ⑤ Cancel Help

Library: EndNote Web 8 items in list

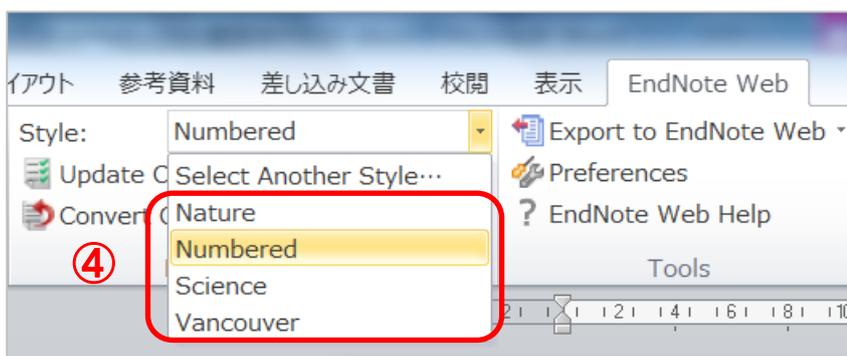
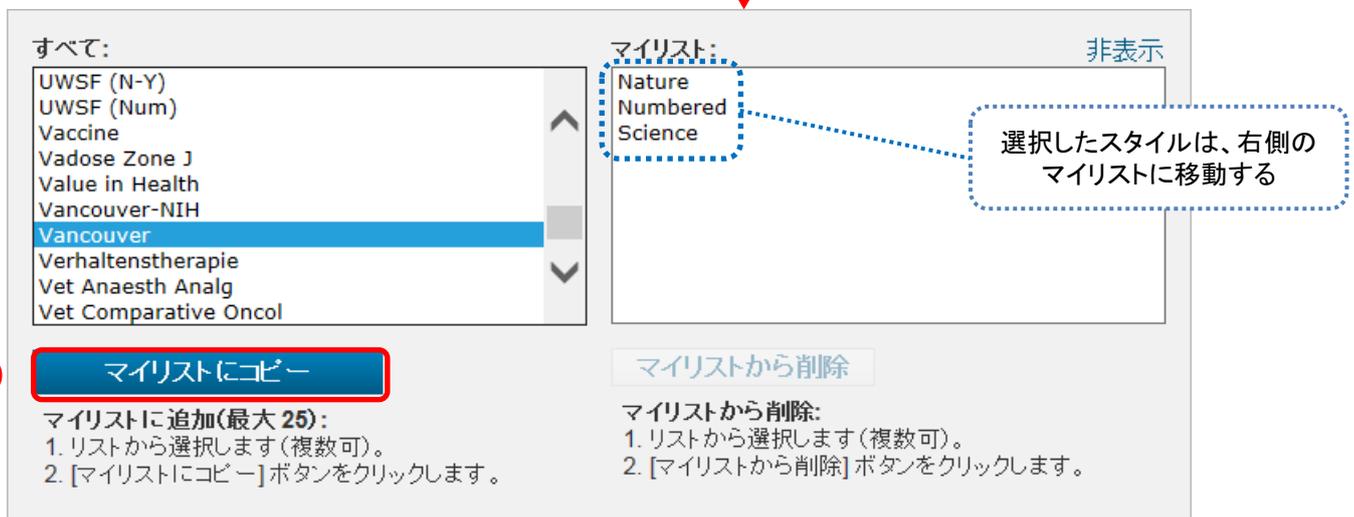
**POINT!**  
 投稿する雑誌が既に決まっている場合は最初からその雑誌のスタイルを選んでおく方法もあるが、論文執筆中は順番の入れ替えや追加・削除などの編集を頻繁に行うことになるので、注と参考文献リストを対照しやすい Numbered を選んでおき、最後に投稿する雑誌の投稿規定に合わせるのがお勧め。

## ■ よく使う参考文献スタイルの登録

- ① 「フォーマット」タブから「引用文献のフォーマット」をクリック。
- ② 「お気に入りを選択」をクリック。
- ③ 登録したいスタイルをクリックして反転させ、「マイリストにコピー」をクリック。

※任意のスタイルをクリックしてからアルファベット 1 文字を入力すると、その文字から始まるリストの先頭に移動できる。

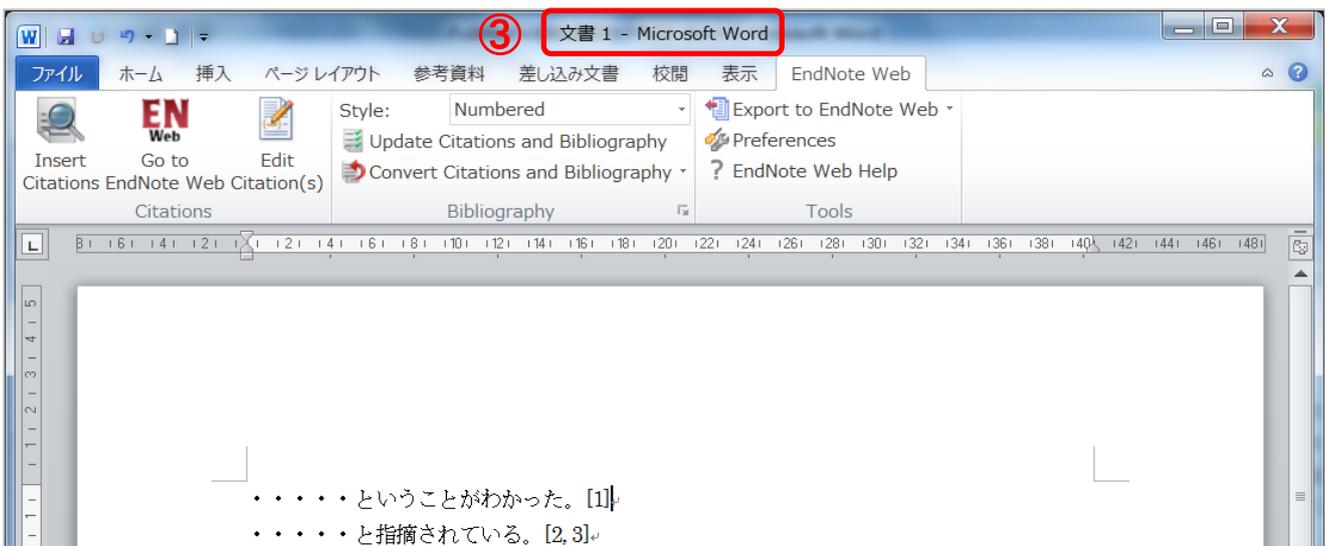
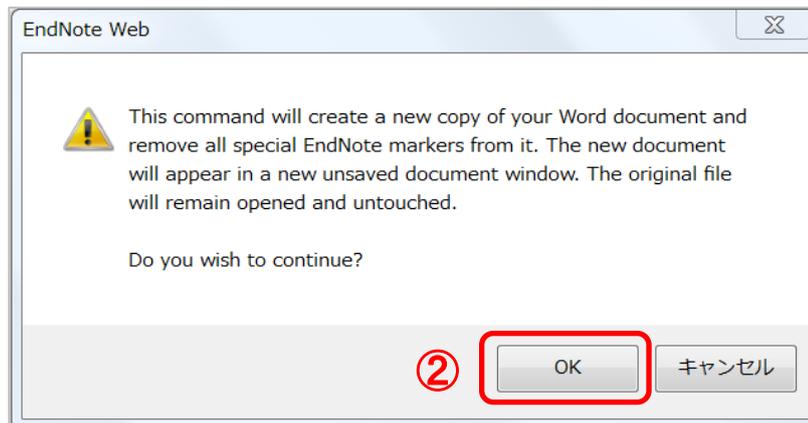
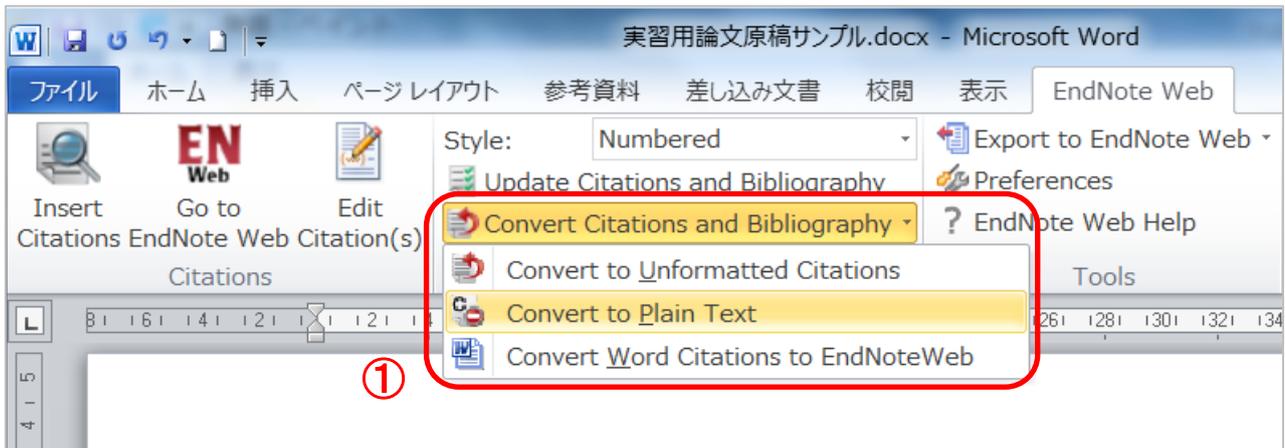
- ④ 「マイリスト」に移動したスタイルが、Word のリボン「EndNote Web」の style プルダウンに表示される。



※Word から EndNote basic にサインインした後にブラウザからもサインインしてマイリストに新たなスタイルを追加したときは、一旦 Word を閉じて再度ファイルを開き直すと変更が反映される。

## ■ フィールドコードの削除～論文提出時の処理～

- ① Word のリボン「EndNote Web」から「Convert Citations and Bibliography」をクリックし、「Convert to Plain Text」を選択
- ② 確認のポップアップが表示されるので、OK をクリック
- ③ EndNote basic とのリンクが切れた新しい Word ファイルが生成されるので、元の原稿ファイルとは異なる名前で保存する



### POINT!

提出用のプレーンテキストファイルを出版社や共著者に送信後、相手からそのファイルに修正指示が書き込まれて返ってくることがあるが、そのときは必ず **EndNote basic とのリンクを切る前の原稿ファイルを修正する。**リンクの切れたファイルで修正作業をすると、挿入済みの引用情報に対しては削除や順番の入れ替え、スタイルの変更などが反映されず、すべて手作業で修正しなければならないので要注意。

## 【 マイグループの管理と共有 】

- ① 「構成」タブから「マイグループの管理」を選択。
- ② 「共有の管理」をクリックし、「このグループの共有を開始します。」をクリック。
- ③ 共有相手の EndNote basic アカウントのメールアドレスを入力する。
- ④ 共有相手の権限を「読み取り専用」か「読み書き」かに設定して「適用」ボタンをクリックする。

マイレファレンス 収集 構成 フォーマット 一致 NEW! オプション

① **マイグループの管理** その他のグループ 重複の検索 添付の管理

### マイグループの管理

| マイグループ            | レファレンスの数 | 共有                       |              |          |
|-------------------|----------|--------------------------|--------------|----------|
| iPS細胞             | 13       | <input type="checkbox"/> | <b>共有の管理</b> | 名前の変更 削除 |
| pancreatic cancer | 62       | <input type="checkbox"/> | 共有の管理        | 名前の変更 削除 |
| PubMed            | 5        | <input type="checkbox"/> | 共有の管理        | 名前の変更 削除 |
| UpToDate          | 3        | <input type="checkbox"/> | 共有の管理        | 名前の変更 削除 |
| 情報検索スキルの必要性       | 2        | <input type="checkbox"/> | 共有の管理        | 名前の変更 削除 |
| 講習会実践例            | 4        | <input type="checkbox"/> | 共有の管理        | 名前の変更 削除 |

新しいグループ

**'iPS細胞' の共有を管理**

0 件の Email アドレス

**このグループの共有を開始します**

**Email アドレスを 'iPS細胞' に追加**

Email アドレスを入力してください。Enter または Return キーを使用してアドレスを区切ります。

medlibs@m.u-tokyo.ac.jp ③

- または -

Email アドレスをコンマで区切ったテキストファイルを選択します。

読み取り専用  読み書き ④

**適用**

※マイグループで共有できるのは論文記録の情報のみで、添付ファイルは共有できない。共有したグループ内の記録にファイルが添付されていても、共有相手からは見られないように設定されている。

### ■ 各種サポートページ・問い合わせ窓口

- ・ EndNote basic を使うには？(本部情報基盤課[学術情報リテラシー担当]作成)  
<http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/faq/enw.html>
- ・ EndNote basic サポート(トムソン・ロイター作成)  
<http://ip-science.thomsonreuters.jp/products/enw/support/>
- ・ インターネット講習会スケジュール(トムソン・ロイター作成)  
<http://ip-science.thomsonreuters.jp/products/enw/training/>

※EndNote basic の他、Web of Science や Journal Citation Reports の講習会動画が見られます